

国語

☆☆☆

・「知識の総まとめ」の学習を進める

授業で確認テストの実施があります。既に配付した『「知識の総まとめ」確認テスト範囲』を
をもとに計画的に学習をすすめましょう。

・授業の復習（間違い直し）

メモを見返しながら文章を読み返しましょう。その後、授業中に間違えた問題等について下記
のように取り組むことをおすすめします。

〔記号問題〕

授業中のメモを見て、どうしてその答えになるのか（特に、正しくない選択肢について、どの
部分が正しくないのか）を確認してみましょう。また、選択肢の文章が長くて間違えてしまっ
た場合は、意味が区切れる部分ごとに分け、本文との正誤を確認しましょう。

〔抜き出し問題〕

設問条件等を確認したうえで、なぜその部分が答えになったのか再度確認しましょう。

〔記述問題〕

×の問題・空白にした問題は、メモを見ながらでもよいので取り組んでみましょう。

・宿題

解答の根拠や問題の条件等に線を引きながら解きましょう。また、間違えた問題の解説を、線
を引きながら読みましょう。

☆☆

・演習②(授業中に演習①・演習③を行ったクラス)

宿題と同様のやり方で解きましょう。

☆(他教科の学習も終わらせて余裕がある場合のみ)

・演習①(授業中に演習②・演習③を行ったクラス)

宿題と同様のやり方で解きましょう。

担当からの連絡

夏期講習は春期講習同様、レギュラー授業と同形式の演習に加え、より実践的な入試演習も行います。レギュラー
授業より時間が長い分、多くの文章や設問に触れることができます。過去問演習に備え、「読み方」「解き方」への意
識を引き上げていきましょう。

・レギュラー授業の教材と同形式での演習

夏期講習からは、前期のように「一冊の本」をベースにした教材から「テーマ別演習」に切り替わります。入試に出や
すいテーマを一回の授業で一つずつ取り扱います。背景知識や話の展開方法などを整理していきましょう。

夏期講習中では、「恋愛」や「罪悪感」などをテーマとした物語文の読解や、「科学」や「芸術」などをテーマとした説明
文の読解を行います。

なお、夏期講習での宿題の告知や間違えた問題の直し方等は教材の巻末にも告知しています。

・実践的な入試演習

1回の演習のなかに、説明文・物語文・知識問題等がでできます。

より入試に近い形式での演習に触れながら、処理速度を高めて設問を処理していく力を養いましょう。

演習で間違えたものは、上記の「授業の復習」を参考に再度解き直してみることをおすすめします。